

著作権について

「DMディスプレイマネージャ」(以下、DMDisp と表記)をダウンロードいただき、誠にありがとうございます。DMDisp は株式会社キャドシステムズ(以下、弊社と表記)が企画 制作した MicroStation 用のアプリケーションプログラムです。

DMDisp の所有権は弊社が保有しておりますので、DMDispのプログラム本体および、マニュアルなどのドキュメント類の一切は弊社の断り無く、複写や改変を禁止します。

注意 MicroStation, マイクロステーションは米国 Bentley Systems Inc の登録商標及び商品名です。

1. DMDisp概要

DMDisp は要素の表示を画層だけに依存するのではなく、画層と色の組み合わせを記述した設定ファイルによって要素の表示をコントロールする、MicroStation のアトオンソフトウェアです。DMDisp をご利用いただくことにより、MicroStation の 63画層のみの表示制御を、10000種類の画層へと拡張することができます。DMDisp の特徴は以下の 3点です。

- 特徴 1 画層と色の組み合わせにより 63画層の制限がなくなる
MicroStation での要素表示をコントロールする手段は、これまで画層を使う以外に方法がないため、限られた 63画層を無駄なく使わなければなりません。DMDisp では、この制限をなくし、画層と色の組み合わせによって表示をコントロールしますので、同一画層に異なる色番号の要素があっても、それらを別々に独立した形で表示することができます。従って、理論上 256x63 種類のレイヤを表現することができます。
- 特徴 2 表示項目をグループ化できる
設定テーブルでグループコードを記述することにより、複数のレイヤをグループ化することができます。道路に関するグループ、建物に関するグループ、というように、目的に応じたグループ設定が可能です。
- 特徴 3 表示設定のロードとセーブができる
表示状態を保存できますので、よく使う表示設定を保存しておき、その都度ロードして使用することができます。

DMDisp を使用するのに必要な環境は以下の通りです。

ハードウェア	
CPU	MMXPentium 200MHz 以上 (PentiumII 以上を推奨)
メモリ	80MB 以上 (128MB 以上を推奨)
HDD 空き容量	100MB 以上
ディスプレイ解像度	800x600 以上 (1024x768 以上を推奨)
ソフトウェア	
OS	Microsoft WindowsNT4.0 SP3 以上
CAD	MicroStation 95/SE (SE を推奨)

2. インストール

DMDisp は以下の 2ファイルで提供されます。これらはいずれも弊社ダウンロードサイト (<http://www.cadsystems.co.jp/freesoft/freesoft.htm>)から入手することができます。

- ・DMDISP.EXE DMDisp 本体
- ・DMDDOC.PDF DMDisp トキュメント(本書です)

<<インストール方法>>

DMDISP.EXE は自己解凍形式ファイルです。DMDISP.EXE を実行し、作成される以下の 2ファイルを MicroStation の MDLAPPS ディレクトリへコピーして下さい。

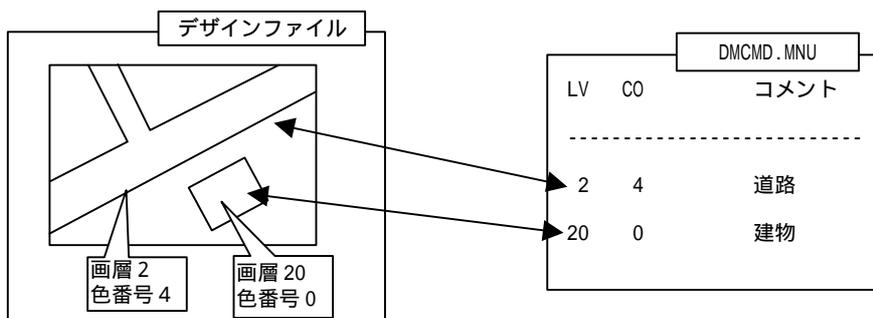
00/10/12 08:44p	27,664 dmDspMng.ma
00/10/12 08:44p	88,576 dMngDll.dll

コピー先の例 : C:\win32app\ustation\mdlapps

3 .DMDisp を使う前に

はじめに

DMDisp は MicroStation のデザインファイルとそれに対応した弊社独自の設定ファイル「DMCMD.MNU」をペアで使用します。デザインファイル内の要素は「DMCMD.MNU」に記述された画層と色の組み合わせに基づいて属性が整理されている必要があります。もしデザインファイルと「DMCMD.MNU」の対応ができていない場合、DMDisp は要素を正しく表示することができません。



DMDisp を使用する際には、まずデザインファイルの要素に合わせた DMCMD.MNU を作成するか、既存の DMCMD.MNU に要素の属性を合わせるといういずれかの作業が必要になります。

DMCMD.MNUとは

弊社製品「DMPRO」、「DMECO」、「DAP」等で共通して使用するテキスト形式のファイルです。このファイルにはデジタルマッピングの図式分類に基づき、それぞれの図式を画層と色の組み合わせによってユニークになるよう対応づけています。基本的には1行で1図式を記述する形式をとり、画層と色の組み合わせはその行でしか存在しないようにしなければなりません。また、各項目は半角スペース文字で区切って表現します。この中でも特に DMDisp では、以下の項目を使用しています。

第1番目のフィールド(#)	大分類コード、グループ番号、グループ内D
第4番目のフィールド(F)	縮尺フラグ、表示フラグ
第5番目のフィールド(L)	画層
第6番目のフィールド(Co)	色番号
#以降のフィールド(comment)	コメント

第1番目のフィールド(#)

このフィールドは例のように半角ピリオド記号(.)と半角マイナス記号(-)によって3つのサブフィールドに分けられます。各サブフィールドは以下の意味を持ちます。

記述例： 1.2-5

- 大分類コード 弊社製品「DMPRO」、「DMECO」で使用する分類コードで、DMDisp では使用しません。(この例では「1」)
- グループ番号 この番号が同じ分類項目ですが、全て同じグループとして扱われます。道路に関するもの、建物に関するもの、といったように関係のあるものをグループ化すると便利です。(この例では「2」)
- グループ内D 同一グループに属する分類項目を識別するためのコード番号で、1から始まる任意の番号をつけることができますが、同じグループの中で同じグループ内Dが存在しないように設定する必要があります。(この例では「5」)

第4番目のフィールド(F)

このフィールドは例のように半角ピリオド記号(.)によって2つのサブフィールドに分けられます。各サブフィールドは以下の意味を持ちます。

記述例： 7.1

縮尺フラグ 弊社製品「DMPRO」, 「DMECO」で使用するコードで、DMDisp では使用していません。(この例では「7」)

表示フラグ DMDisp でこのDMCMD.MNUを読み込んだとき、その分類項目を表示(1)しておくか、非表示(0)としておくかを決定します。(この例では「1」)

第5番目のフィールド(L)

画層番号を記述します。

第6番目のフィールド(Co)

色番号を記述します。

#以降のフィールド(Comment)

DMDisp のメニュー上に表示するコメントです。

注意

「DMPRO」, 「DMECO」, 「DDM」で標準添付されるDMCMD.MNUとDMDispに添付されているDMCMD.MNUは第1番目のフィールドと第4番目のフィールドの記述書式が異なりますが、**どちらの記述書式でも、「DMPRO」, 「DMECO」, 「DDM」は問題なく動作いたします。**

4. DMDisplayの起動と終了

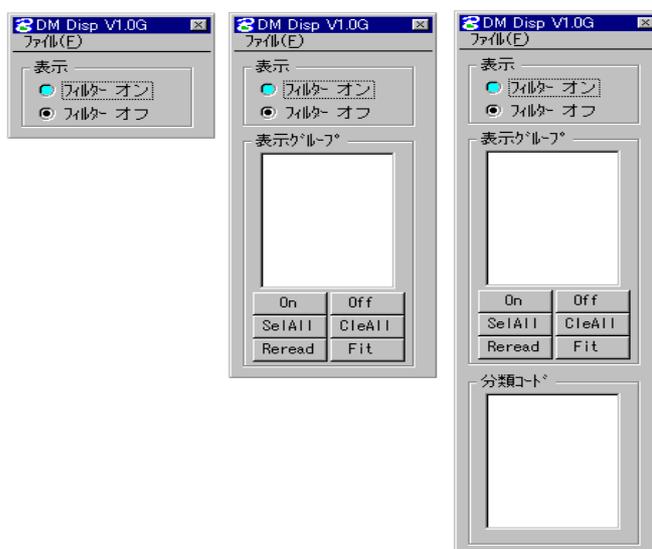
起動方法

- 1.作業を行うデザインファイルを MicroStation でオープンします。
- 2.起動コマンドをキー入力して下さい。

MDL LOAD DMDSPMNG

- 3.以下のメニューが表示されます。

このメニューは伸縮型になっています。ダイアログボックスの下端をドラッグすると、3段階にサイズ変更できます。

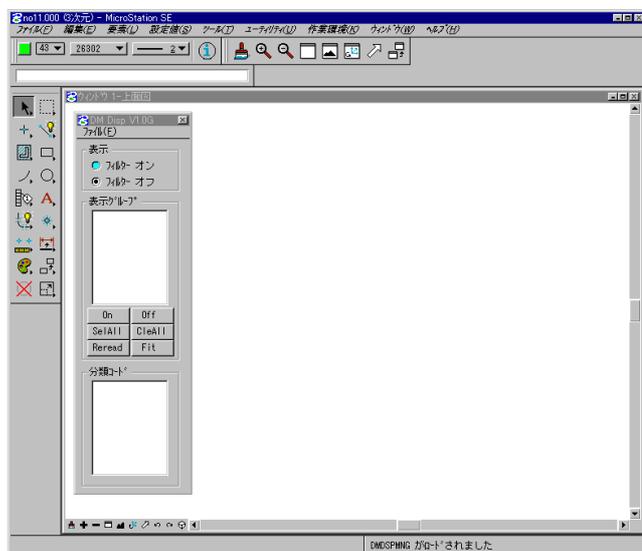


終了方法

ダイアログボックスの終了ボタンを押すか、ファイル> 終了を選択します。

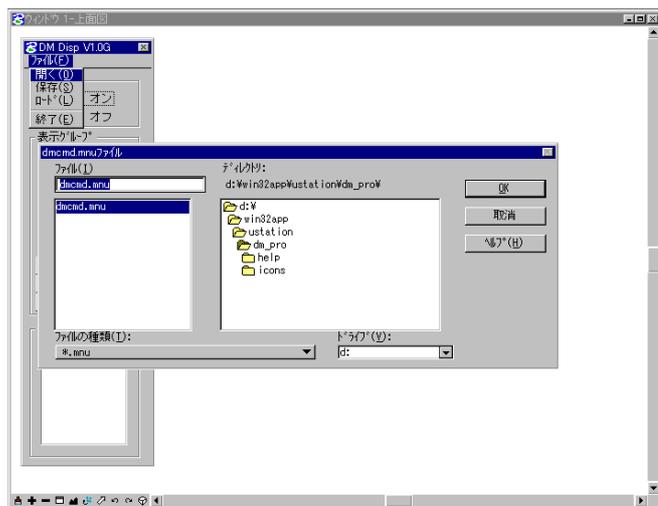
5.操作例

MicroStation を起動したら、「MDL LOAD DMDSPMNG」をキーインして DMDisp を起動します。



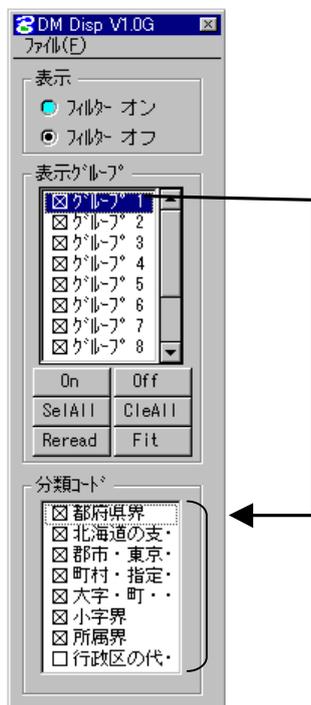
DMDisp のダイアログボックスがオープンします。

DMDisp の「ファイル>開く」を実行し、デザインファイルとセットで使用する DMCMD.MNU を選択します。



DMCMD.MNU を選択したら、「OK」を選択してください。そうすると、DMDisp の「表示グループ」欄に DMCMD.MNU で定義されているグループの一覧が表示されます。

「表示グループ」欄にあるグループ名のいずれかを選択すると、そのグループを構成する分類項目のリストが「分類コード」欄に表示されます。



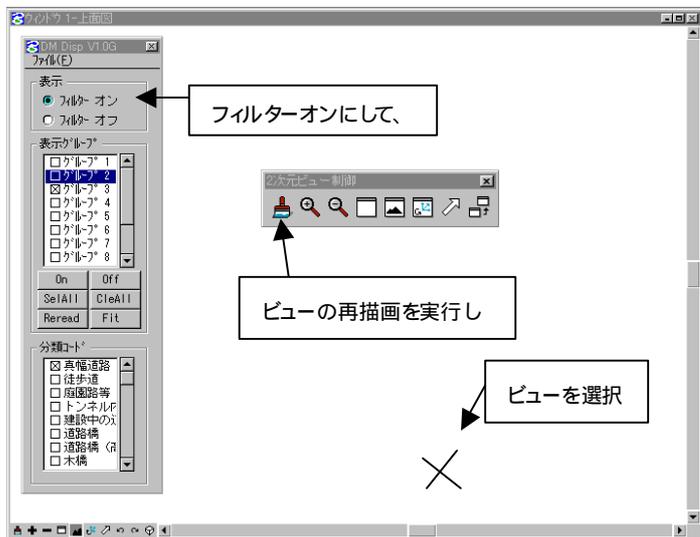
このリストの中で、×印が付いている分類項目は表示されるもの、×印がない分類項目は表示されないものです。DMCMD.MNU を読み込んだ直後の表示スイッチの ON/OFF の状態は、DMCMD.MNU 第 4 フィールドの表示フラグの値により変化します。

「分類コード」欄や「表示グループ」欄の項目を選択すれば、そのスイッチが切り替ります。表示したい項目と表示したくない項目をそれぞれ選択することができます。

このとき、[SelAll] ボタンを押すと全てのグループ項目が表示 ON になります。(グループを構成するそれぞれの分類項目は変化しません)

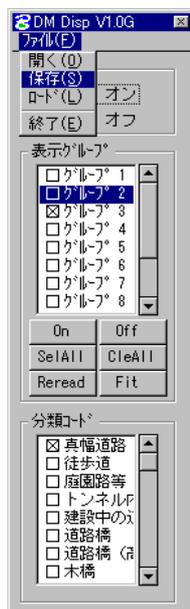
また、[CleAll] ボタンは、全てのグループ項目を off にします。(それにより、全ての分類項目が表示されなくなります)

フィルターオンを選択し、MicroStation の「ビューの再描画」コマンドを実行すると、指定したビューが設定した通りのレイヤ表示状態になります。



きちんと表示されない場合には、「フィルターオフ」を選択し、もう一度「フィルターオン」を選択すると、きちんと表示されます。

DMDisp による表示設定は、ファイルとして保存することができます。DMDisp の「ファイル > 保存」を選択して、ファイル名を設定します。



よく使用するレイヤ表示設定（たとえば道路を検査するときに都合の良い状態など）を保存しておけば、そのたびにいちいち分類項目を選択する手間を省くことができます。

DMDisp による表示設定を再度読み込むには、DMDisp の「ファイル > ロード」を選択して下さい。

DM Display Manager 取扱説明書

Version 1.08G

2000 年 12 月 5 日 初版発行

発行 株式会社キャドシステムズ

〒102-0085 東京都千代田区六番町 6
共同ビル 1 F

TEL 03-5226-0781 FAX 03-5226-7710

<http://www.cadsystems.co.jp>

(C) 2000 Copyright CADSystems Co.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について（ソフトウェア及びプログラムを含む）、株式会社キャドシステムズからの文書による承諾を得ずに、いかなる方法に於いても無断で複写・複製することを禁じます。